

神戸安全ネット会議 平成 17 年度の取組み
～災害時に徒歩帰宅するための地図のひな型づくり～
アンケート調査結果

1. アンケートへの協力について

災害時に徒歩帰宅するための地図のひな型を作成するにあたり、「掲載する内容等について、検討会の結果を整理したうえで、再度、神戸安全ネット会議の全会員に対してご意見をうかがいたい。」ということで、実施したのが今回のアンケートです。

40 会員事業者様から、付け加えた方がよい情報、あるいは削った方がよい情報等について貴重なご意見をいただくことができました。ご協力いただいたみなさまにおかれましては、お忙しい中、誠にありがとうございました。

2. 地図上にどのような情報等が必要かについて

「検討会の結果を前提に、他に、地図上に記載すべき情報があればお書きください。」との設問に対して、いただいたご意見は次のとおりです。

- ・「目安をつけるために、縮尺やスケールを使ってスタート地点からの距離を出して、詳細地図上に書き込んでおくとう便利」とあるが、“目標までの残りの距離”を書き込んでおく方がよいと思う。
- ・郵便局。なお、地域によっては、災害時に帰宅困難者支援を行うことを表明している。そのような地域においては、コンビニと同等に重要性が高い。
- ・遠くから目立つ、高層ビル、広告看板、鉄塔、公衆浴場や工場の煙突などの位置を記しておくとう目標物として有効。なお、公衆浴場の煙突は、名前も書いてあることが多い。ただし、実際に歩いてみないと分からない。
- ・親戚、友人・知人宅を記載しておくとう、先方の安否確認が可能。また、自分が困ったときに支援を受けられる可能性がある。
- ・迂回せざるを得ない場合に、コースを選ぶ際の目安とするために、主要地点の標高を記しておくとう参考情報になるのではないかな。
- ・神戸安全ネット会議会員の事業所のうち免震、制震構造化されているものがわかれば、目印として有効。
- ・公衆電話の位置がわかれば非常に有効。ただ、現状では、実際に歩いてみないと分からないし、実際に事前に確認しておいても災害時にあるかな否かは分からない。
- ・神戸市内には現時点ではないが、避難所誘導看板の位置。

3. 地図の余白に記載する情報等について

(1) “携行品チェックリスト”について

“携行品チェックリスト”について、必要な数を入れられるようにした方がよいとうのご意見をいただいたほか、追加するべきもの、として次のようなご意見をいただきました。

- ・携帯電話。最近ではラジオ付きのものやGPS機能付きのものも発売されている。
- ・軍手。
- ・筆記具。
- ・落下物を考慮して、帽子、できればヘルメット。
- ・自動販売機、公衆電話用に小銭。
- ・10年前の阪神淡路大震災の経験を踏まえて、粉塵対策として防塵マスク。ゴーグ

ルもあれば便利。

- ・ばんそうこうは、あると便利。
- ・寒い時期には、携帯カイロがあると便利。
- ・携帯トイレがあると便利。

また、以下の携行品については、次のようなご意見をいただいています。

- ・飲料水や携行食は、消費期限に注意すべき。
- ・懐中電灯よりもLEDのヘッドランプが、両手が使えてよいのではないか。
- ・危険物が散乱している場合を考慮して、“安全靴もしくは金属製の中敷”を携行品の中に挙げているが、安全靴等が無い場合は、プラスチックファイルの表紙などをはさみで切り抜いて使う方が、無いよりはまし。

なお、安全靴については、その有効性は認めつつも、

- ・安全靴の有効性は認めつつも、長距離歩行を考慮すると安全靴は不向きではないか。大きくて普段の置き場所にも困る。

とのご意見を多数いただきました。

(2) “心がまえ”について

“心がまえ”について、いただいたご意見は次のとおりです。

- ・自動車を利用しない！を加えるべき。
- ・災害用伝言ダイヤルについては「171」というナンバーを付しておくべき。
- ・距離にもよるが、夜間、特に停電している中を歩いて帰ることは危険であることを強調すべき。

その他、記載の方法について、災害発生時と平時に分けるべきとの、ご意見をいただきました。

(3) “緊急に備えた連絡先等”について

“緊急に備えた連絡先等”について、いただいたご意見は次のとおりです。

- ・iモード災害用伝言板サービスだが、同様のシステムはau、Vodafoneにもある。また、内容の確認のみであれば、以下のアドレスを入力すれば、パソコン、携帯電話、PHSからでも可能。

NTTドコモ：<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

au/tuka：<http://dengon.ezweb.ne.jp>

Vodafone：<http://dengon.vodafone.ne.jp>

- ・NHKの地震情報提供サイト
- ・災害用ブロードバンド伝言板（web171）<<https://www.web171.jp>>

また、全体に関して、次のようなご意見をいただきました。

- ・安否確認に関連した情報は特に重要。
- ・各自が書き込める欄を用意した方がよい。

なお、最後に、URLが長すぎるという、ご感想をいただいたことを付け加えておきます。

4. 1月の検証イベントの開催日について

平成18年1月に実施を予定している、ひな形を用いて実際に歩く検証イベントの開催日の希望について、いただいたご意見は次のとおりです。

“平日” 19件（平日もしくは土曜日のご意見3件を含む。）

“土曜日”	10件（平日もしくは土曜日とのご意見3件、土曜日もしくは日曜日とのご意見1件を含む。）
“日曜日”	1件（1件は、土曜日もしくは日曜日とのご意見でした。）
“いつでも”	14件

5. その他について

「今回の取り組みに関連して、何かご意見がございましたら何でもお書きください。」との設問に対して、いただいたご意見は次のとおりです。

まずは、取り組み全体について、次のようなご意見をいただきました。

- ・災害時の帰宅対策については、個人においても、企業においても、なかなか真剣に検討することが出来ない。みんなで一緒に考えて、現実に試行することにより、実践的かつ有効なアイデアが浮かぶのではないかと期待している。
- ・実際に行なった後、改善点や問題点等を集約し、次に繋げていくことが重要。
- ・震災経験が風化しつつある中で、必要な取り組みだと思う。

特に具体的に作成する“地図”については、次のようなご意見をいただいています。

- ・縮尺が難しい。
- ・余り情報を加えすぎると、かえって見にくくなる。各自で最終的には、必要なものを選択すべき。
- ・地図は、色の使い方に気をつけると見易くなる。しかし、有料の地図ソフトはともかく、無料の地図サイトに掲載されている地図では、通常は変更不能。
- ・“携行品チェックリスト”“心がまえ”“緊急に備えた連絡先等”については、字をできるだけ大きくする方がよい。
- ・“携行品チェックリスト”“心がまえ”“緊急に備えた連絡先等”については、今回は、ひな型地図に添付する形式にすることのだが、どのような形で用意しておくのか検討が必要（例えば、ポケットに入るように、カードサイズにしておく等）。

さらに

- ・余り情報を加えすぎると、かえって見にくくなる。各自で最終的には、必要なものを選択すべき。
- ・携行品のチェックリストは、各自が優先順位の高いものから並べるべき。
- ・携行品を全部そろえることは困難。また、揃っても距離や体力を考えると、全部備えて歩けるか不安。“携行すべきもの”としていても、それはあくまで目安で、各自で最終的には、必要なものを選択すべき。

といった各自の自由な判断を尊重したご意見もいただきました。

その他、次のようなご意見もいただいています。

- ・社員を帰宅させるにおいては、ある程度の人数のグループで企業として帰宅させたいと考えている。
- ・帰宅を見合わせている間は、交通機関の運行情報、不通範囲・復旧範囲に関する情報が必要。
- ・徒歩何時間まで帰宅が可能なのか、今後基準を出せれば有効だと思う。
- ・“心がまえ”にあるように、夜間かつ停電中である場合などには、社として待機させるという選択も、必要になると思う。
- ・携帯が利用できない状況になったときのことも、各自で考えておくべき。

6 . 最後に

以上がアンケート結果です。アンケートでいただいたご意見を参考に、今後、地図のひな型を作成してまいります。ご協力に対しまして、改めてお礼申し上げます。